



「夢」の実現にむけて

震災による、サプライチェーンの寸断による市内産業への影響や、世界的な経済の不透明感から歴史的な円高や株価の下落など、次から次に厳しい局面が押し寄せてきております。

企業がそれぞれの立場において全力で取り組み、お互いが協力しあうことが必要であると考えます。

まだまだ、先行きの不安感はぬぐえないものもありますが、経営者同士での、知恵や夢を語り合うような場が大切だと考えます。

そしてそのことは、出会いの環を生み、広がり、「夢」に向かって邁進する行動となるのではないのでしょうか。

「夢」の実現に向けての秘訣は、「出会い」、「共同」、「協力」、そして「行動」ではないのでしょうか。



センターと共動して展開

- 1. ものづくり産業展示コーナー：10月17日（月）～**
自社をアピールする場として、市役所ロビーに市内企業の製品を展示します。ご興味がある企業はお問い合わせください。
- 2. センターのサロン活用**
夢を語ったり、現状を相談するなど、経営者同士の集いの場としてお使いください。
- 3. 「センター祭り」の開催：平成24年2月開催予定**
企業同士の事業マッチングやコラボレーションの可能性など、業種を超えた出会いがあるかもしれません。是非、参加してください。
- 4. 人材育成研修の充実：秋のリーダー研修（10/15～12/24）**
企業の「夢」を描けるそんな人材づくり活動として市内企業の状況にあわせた研修プログラムを実施しております。

◇ 活動事例紹介

テーマ：チューブカットの生産性アップ

背景：チューブカット時に作業のバラツキ、不具合があり、品質の不安定さが目立つ

目標：生産効率を2.5倍に上げる

期間：2011年4月～2011年8月

内容：現状を分析し、素材の特性を理解して品質を安定させる。

年度	平成23年度
企業	(株)フューチャ アドバンス
業種	自動車部品
支援	門平 SA

FA(株)フューチャアドバンス



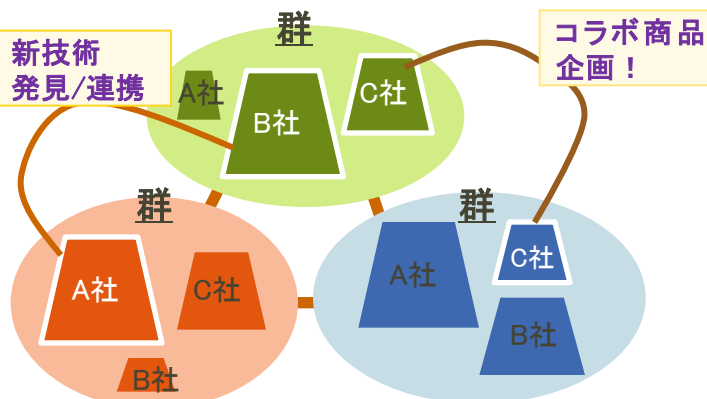
活動ポイント 1. センターのコーディネートにより競合他社でありながら、岩間化学様にご指導、ご協力をいただいたこと

2. 素材それぞれの性質にあった取組みが品質の安定化と生産スピードアップにつながった。

社長の声：生産効率目標を上回る3倍に達成ができ、また岩間化学様とのコラボレーションにより実践を交えた指導に従業員一同が励まされ、達成感を味わうことができ、幸せに感じています。今回の貴重な経験は、トライ＆エラーを続けることの大切さを身をもって学びました。

◇ 用語解説「コラボレーション」

コラボレーション(collaboration)とは、複数の立場や人によって行われる協力・連携・共同作業のことです。またその協力によって得られた成果(=共同開発品・合作品・協力体制)もコラボレーションと呼ばれます。



コラボレーションという言葉には、「意外な組み合わせ」「付加価値の創出」というニュアンスが込められる傾向にあります。商機(勝機)はどこに隠れているのか分かりません。意外なところで思いがけない出会いがあるかもしれません。

日頃から常にアンテナを高く張り、様々な分野の情報を仕入れ、さらに人的ネットワークを構築しておくことが、このような思ってもみなかったチャンスにつながるのではないのでしょうか。

◇ お知らせ1 平成23年度「センター祭り」開催します！



- ・企業と企業とのマッチング！
- ・市内産業の業種の発見に
- ・経営者同士との対談で夢を語り合う場に！

2月中旬～開催予定
乞うご期待！！

◇ お知らせ2

「3つの勉強会」11月開催予定

中小企業向けに、新たな市場への参入の可能性、また、新材料活用の可能性を探る勉強会！

11月11日 「福祉介護分野勉強会」(予定)

11月24日 「素形材分野勉強会」(予定)

問い合わせは産業政策課(059-382-8698)まで。

◇ お知らせ3

リーダー研修(管理編・技術編)

大好評にて準備を進めております。
ご参加頂ける企業様！お急ぎを！

【発行】

鈴鹿市 産業振興部産業政策課ものづくり産業支援センター
〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号(別館第三)
TEL 059-382-7011 FAX 059-384-0868
E-mail: sangyoseisaku@city.suzuka.lg.jp